

2024 年度 学術研究成績

論文執筆

筆頭著者	題目	雑誌名
小山田千尋	Too many toes sign -測定方法に関する検討-	日本足の外科学会雑誌 45 巻 1号 Page88-90(2024.08)

学会発表

主演者姓名	題目	学会名
小山田千尋	脊椎手術者に対するリハビリテーション栄養介入の経験 - 超音波画像診断装置を用いた筋評価の実践 -	第 15 回日本栄養治療学会首都圏支部学術集会. 2024 年
小山田千尋	足部疾患患者に対する Too many toes sign の測定方法の検討	第 49 回足の外科学会学術大会. 2024 年.
小林大峻	小児側弯症手術患者における ADL 低下に関連する因子の検討	第 58 回日本側弯症学会学術集会. 2024 年
加藤俊久	小児側弯症患者に対する、術後リハビリテーションと退院に向けての取り組み-病棟との多職種連携について-	第 8 回 JCHO 地域医療総合医学会. 2024 年
鈴木佳樹	回復期脳卒中者における入棟後 1 か月での自立歩行獲得と身体活動変化量との関連	第 8 回 JCHO 地域医療総合医学会. 2024 年
山口拓海	回復期脳卒中者における入棟時のトイレ動作自立度と座位行動時間の関連	第 8 回 JCHO 地域医療総合医学会. 2024 年
村井智尋	当院地域包括ケア病棟における自立歩行再獲得と入棟時 GNRI の関連	第 8 回 JCHO 地域医療総合医学会. 2024 年
鈴木佳樹	座長：フレッシュマン演題 4「神経・その他」	第 43 回東京都理学療法学術大会

著書

著者	編集	題目	書籍名
上内哲男	武藤芳照, 浅見豊子, 黒柳律雄, 内田泰彦, 高杉紳一郎, 上内哲男	第 2 章 医療現場での杖歩行の患者指導・教育. 5. 歩行器の構造と使い方	転倒予防のプロが教える正しい杖の使い方. 新興医学出版社 2024 p. 45-47.
上内哲男	武藤芳照, 浅見豊子, 黒柳律雄, 内田泰彦, 高杉紳一郎, 上内哲男	第 2 章 医療現場での杖歩行の患者指導・教育. 6. シルバーカー構造と使い方.	転倒予防のプロが教える正しい杖の使い方. 新興医学出版社 2024 p. 48-50.
中島裕樹 上内哲男	武藤芳照, 浅見豊子, 黒柳律雄, 内田	第 1 章 杖の基礎知識 1. 杖の分類と機能・効果.	転倒予防のプロが教える正しい杖の使い方. 新興

	泰彦, 高杉紳一郎, 上内哲男		医学出版社 2024. p. 8-13
箕輪俊也 上内哲男	武藤芳照, 浅見豊 子, 黒柳律雄, 内田 泰彦, 高杉紳一郎, 上内哲男	第1章 杖の基礎知識 2. 杖の形と構造.	転倒予防のプロが教える 正しい杖の使い方. 新興 医学出版社. 2024 p. 14- 15
箕輪俊也 上内哲男	武藤芳照, 浅見豊 子, 黒柳律雄, 内田 泰彦, 高杉紳一郎, 上内哲男	第2章 医療現場での杖歩行の患者指 導・教育. 2. 杖のサイズの合わせ方.	転倒予防のプロが教える 正しい杖の使い方. 新興 医学出版社. 2024. p. 26- 29
蕪澤香菜子 上内哲男	武藤芳照, 浅見豊 子, 黒柳律雄, 内田 泰彦, 高杉紳一郎, 上内哲男	第2章 医療現場での杖歩行の患者指 導・教育. 2. 杖の使い方.	転倒予防のプロが教える 正しい杖の使い方. 新興 医学出版社. 2024 p. 30-37

講演

講演者	講演題目	学会名
上内哲男	転倒予防ガイドライン (Age and Aging 2022) を踏まえた理学 療法士の果たすべき役割.	第11回日本転倒予防学会 学術集会 特別講演. 2024 年11月. 佐賀
上内哲男	骨粗鬆症と転倒予防-多職種連携から地域包括連携-	第26回骨粗鬆症学会. シ ンポジウム4. 骨折リエゾ ンサービスでの転倒予防 はどうするのか? . 2024 年10月石川